

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ワインバス運行事業
事業主体 (連絡先)	(一社) 塩尻市観光協会 0263-54-2001
事業区分	(6) ア、オ
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,181,916円 (うち支援金: 1,745,000円)

事業内容

- 桔梗ヶ原ワインバス
市民交流センター、塩尻駅東口から、桔梗ヶ原ワインバレーにある林農園、井筒ワイン、信濃ワインを回るルートにて9月の土日祝日(12日間)運行した。
- 広域周遊バス
高速道路みどり湖PAを起点とし、サンサンワイナリーから、桔梗ヶ原ワインバレー及び日本アルプスワインバレー(安曇野市、松本市)二つのワインバレーを周遊する企画として実施した。本年度は計3回実施した。



【ル・ミリュウ】
(新規ワイナリー訪問)

【目標・ねらい】

- ①ワイン産業の総合6次産業化
- ②ワイナリーへの二次交通の確保
- ③松本地域観光産業の活性化

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ブドウの収穫時期(9月)に合わせてバスを運行した。香り豊かなナイアガラの香りやメルローの古木など、参加者にこの地域のテロワールを体感いただいた結果、高い満足度を得ることができた。
- 着地型の旅行プランとして、ワイナリーへの二次交通を確保することで、参加者の利便性と満足度向上につながった。両エリアのワイナリーを周遊することで、広域エリアの観光情報発信を行うと共に、観光産業の活性化に寄与した。
- 広域周遊については10割の満足度を得ることができた。

※自己評価【A】

【理由】
利用者アンケートで、桔梗ヶ原ルート(98%)、広域周遊ルート(100%)の方から「満足」との回答が得られた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

桔梗ヶ原ルートは、昨年に引き続き信州まつもと空港の利用者をターゲットに一日3便の運航を行った。広域周遊ルートについては、本年度新規ワイナリー(ル・ミリュウ/安曇野市)が参加することで、近年増加傾向にある新規ワイナリーのPRにつなげることができた。アンケート調査結果より高い満足度から次年度以降も手法を替えて実施を検討していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある